

扇臨時議員提出資料

平成14年4月23日

経済活性化に資する技術開発への取組みについて

国土交通省

技術開発から実用化まで実施、今後も充実強化

技術開発

技術研究開発

実証 試行

実用化

競争的資金
省内横断的プロジェクト
所管研究所、事業部局
予算

公共工事での実証 試行
輸送機器高度化技術に
関する補助金

事業化
公共工事での活用
債務保証、事業化融資

【目指すべき方向】

高度情報通信社会

効率化、コスト低減

安全 安心な社会

持続可能な社会

地域経済の活性化

【経済活性化】

新規需要の
創出

新サービスの
創出

競争力の強化

スーパーエコシップ

無人化施工等のためのロボット技術等

FRP廃船高度リサイクルシステム等

メガフロート

テクノスーパーライナー

ETC (ノンストップ自動料金支払いシステム)等

産学官連携 ・ 関係省庁連携

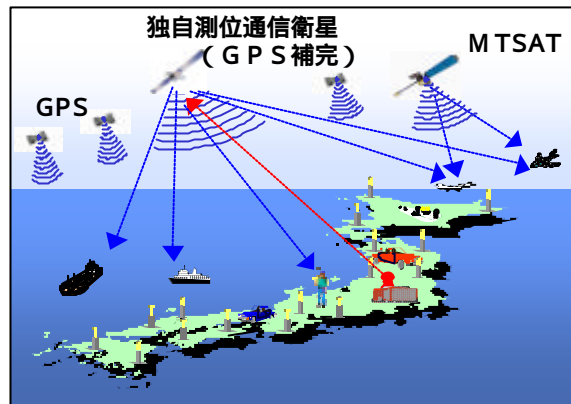
経済活性化のための重点的技術開発プロジェクトの例

高度情報通信社会

次世代衛星測位システム（Ⅱ）

（概要） GPSを補完する独自測位通信衛星により、測位不可能地域の縮小、高精度情報の利用地域拡大等を実現。

（効果） 交通、測量、防災等での利用拡大、位置情報活用新サービスの出現等。



効率化、コスト低減

スーパーエコシップ（環境）

（概要） 高効率船用ガスタービン、電気推進システム、二重反転ポッドプロペラ、新船型により、環境負荷・輸送コストの低減、船内労働環境の改善。

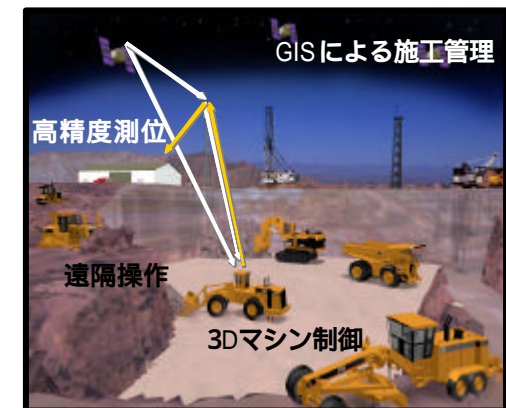
（効果） 内航海運・中小造船の産業競争力の強化、船用ガスタービンメンテナンス事業等の新規産業創出等。



無人化施工・維持管理ロボット(IT)

（概要） 危険箇所における施工・維持管理を行う遠隔操作ロボット、リアルタイム測位システムを用いた無人化施工技術を開発。

（効果） 労働集約型から知識集約型へ建設産業の構造改革を促進。

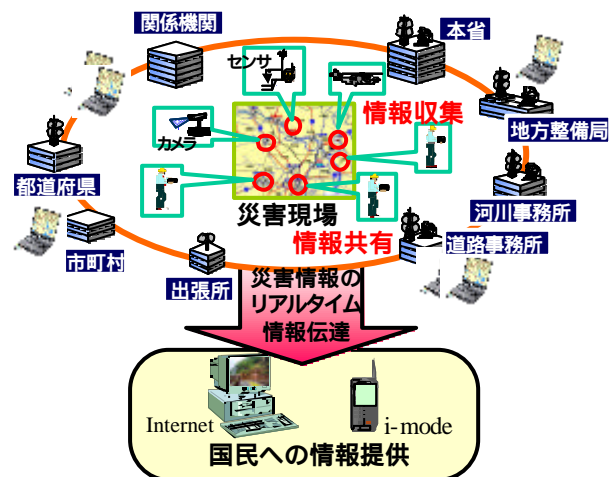


安全・安心な社会

リアルタイム災害情報システム (Ⅱ)

(概要) ITを活用した災害情報収集技術、被害度予測・危険度評価技術、モバイル等を用いた情報共有・提供システム。

(効果) 高度なセンシング技術など、IT関連産業が活性化され、防災関連産業も発展。

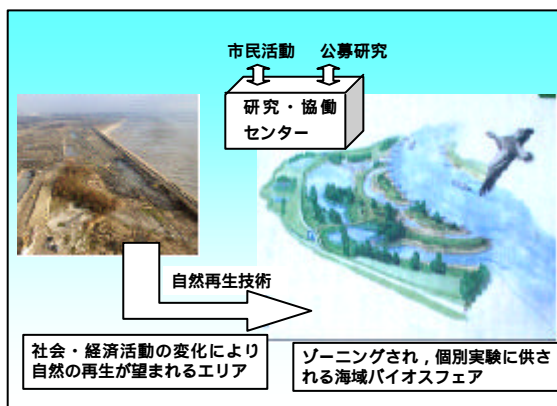


持続可能な社会

大規模自然再生 プロジェクト(環境)

(概要) 生態系を保全・再生する科学技術の大規模実証実験として、豊かな自然環境の再生を行う。

(効果) 産業界、学会、市民と共同で自然を保全・再生するという新たな社会・経済活動が創出され、環境関連産業が活性化される。



地域経済の活性化

北海道における糖鎖工学 産業クラスター促進 (ライフサイエンス)

(概要) 北海道大学が有する世界的な先端技術である糖鎖工学の活用により、糖質資源の高度利用を図り、地域に直結するベンチャー企業へ円滑に技術を移転。

(効果) 北海道に豊富な農林水産物由来の糖質資源を活用した新産業の創出。

